

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 6 月 16 日現在

機関番号：32689

研究種目：基盤研究(B)

研究期間：2010～2013

課題番号：22320054

研究課題名(和文)人形浄瑠璃文楽の近世期上演記録データベースの作成と活用・公開に関する基礎的研究

研究課題名(英文)A basic study of the construction and utilization of the database for performance records of Ningyo Joruri Bunraku in the early modern period

研究代表者

神津 武男(KOZU, TAKEO)

早稲田大学・高等研究所・研究員

研究者番号：10424821

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 13,400,000円、(間接経費) 4,020,000円

研究成果の概要(和文)：江戸時代・近世期の「人形浄瑠璃文楽」(義太夫節成立以後の人形芝居)の上演記録は、『義太夫年表 近世篇』(八木書店、1979～1990年)の成果を最新とする。しかしその完結から20年余を経て、少なくとも四次の補正更新情報が別々に報告されている点が、利用上の障壁となりつつあった。

本研究課題としては最も基本的な資料である「番付 ばんづけ」についてデータベース化を進め、一元的な情報検索を可能とすることに努めた。

研究成果の概要(英文)：The latest findings in performance records of Ningyo Joruri Bunraku in Edo period are the result of Gidayu Nenpyo, Yagi shoten, 1979-1990. But 20 years have passed since the work completed, corrective information have been delivered separately at least four times. It becomes the barrier to use them.

In this study we constructed the database of the most fundamental data, Banzuke, and made it possible to manage information in an integrated fashion.

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：文学・日本文学

キーワード：浄瑠璃本 人形浄瑠璃文楽 歴史 日本古典文学 出版(出板) 書誌学 データベース 日本近世演劇

1. 研究開始当初の背景

江戸時代・近世期の「人形浄瑠璃文楽」(義太夫節成立以後の人形芝居)の上演記録は、『義太夫年表 近世篇』(八木書店。1979～1990年)の成果を最新とする。しかしその完結から20年余を経て、少なくとも四次の補正更新情報が別々に報告されている点が、利用上の障壁となりつつあった。

興行記録という最も基本的な情報(とその検索手段)における混乱状況を解消することは、当該研究分野の深化に有用と考えられるばかりでなく、日本近世文学をはじめとする近接諸分野への情報提供の観点からしても、早期に実現されるべき課題と考えた。

2. 研究の目的

全体構想は、我が国が世界に誇る伝統演劇「人形浄瑠璃文楽(にんぎょうじょうりぶ んらく)」の、伝統の実体を解明し、真に科学的な通史を完成させ、以て当該演劇およびその研究の一層の隆盛を大目標とするものである。

本研究課題はその基礎となるべく、専門家(人形浄瑠璃文楽の演技者や劇場関係者)や日本文学研究者への学術的貢献はもとより、当該演劇に関心をもつ日本国民一般ひいては外国人研究者等へ対しても、正確で信頼のおける上演記録へのアクセスを可能にすることを通じて、大方の関心と叡智とを当該分野へ集めることを所期の目的とするものである。

3. 研究の方法

問題解決の方法のひとつとしては、『義太夫年表 近世篇』の改訂版の作成が考えられるが、やはり紙媒体での更新であっては今後も予想される資料の新出に対応することは出来ない。検討すべきは、追加/更新情報を随時組み入れられる、可変的なシステムの構築である。

研究組織各員においては、その分担する範囲を定め、個々に新出上演記録の抄出に努めた。たとえば研究代表者の神津は、

・「浄瑠璃本(通し本)の配役書入本」に拠って知られる配役情報の抽出・一覧化(「浄瑠璃本(通し本)の配役書入本の効用 付リ・上中編の補遺と年月順総索引」など)
・「浄瑠璃絵尽」の所在情報の一覧化(「浄瑠璃絵尽作品名別所在目録 浄瑠璃絵尽研究の現在と、二三の補遺」など)を進めた。

共同研究を進める中において、こうした成果については、総員全体の作業である以前に、各員の研究として精選・公開されるべきものとの認識で一致して、それぞれの分担する範囲について同様の論文化を進め、それらを補助的・衛星的な存在として位置付けて、統合的な上演記録データベースを作成することと工程を構想するに至った。

そこで研究組織全体の作業としては、最も基本的な資料であり、上演記録の中心的な存在

である「番付 ばんづけ」についてデータベース化を進めて、一元的な情報検索を可能とすることに努めた。

研究期間の全体を通じて、「番付」の所在調査および画像の収集に努めた。特に次の所蔵機関・所蔵者の資料において新出の上演記録を得ることが出来た。記して感謝申し上げます。

【個人】

内山美樹子氏

安田文吉氏

鷲野文吉氏(著書『尾張・名古屋/芝居番付』)

【公共機関】

淡路人形協会

飯田市立美術博物館

大阪音楽大学音楽博物館

大阪市立大学

大阪城天守閣

大阪府立中之島図書館

神戸女子大学図書館

国文学研究資料館

石水博物館

西尾市岩瀬文庫

早稲田大学演劇博物館辻町文庫

台湾大学図書館

東京大学教養学部

徳島県立文書館

富山県立図書館

名古屋女子大学

日本大学総合学術情報センター

広島大学附属図書館

松茂町歴史民俗資料館

港区立港郷土資料館

南あわじ市淡路人形浄瑠璃資料館

4. 研究成果

先行研究である『義太夫年表 近世篇』のほか、近年新出した資料などを含めて、ひとつのデータベースの中で整理した。結果、3714板 2499 興行を把握するに至った。

新出の上演記録は206板 187 興行を数えた。また板木の異同を含め新たな情報を得られたものは136板 116 興行を数えた。興行数換算で、12% (303 興行) の新出情報を加え得たのが、本研究課題の成果である。

これらデータベースの電网上での運用は将来の課題であるが、現在把握する2499 興行の基本情報については、報告書「近世期人形浄瑠璃興行番付の基本書誌データベースとその索引」にまとめた。本研究課題組織員の所属大学図書館などに寄贈したので、ご参照願いたい。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 16 件)

神津武男: "浄瑠璃本のベストセラー" 文学12巻2号. 90-111 (2011), 査読無

黒石陽子: "『曾我会稽山』における曾我十郎-幸若舞『夜討曾我』「紋つくし」の活用をめくって-" 文学 12 巻 2 号. 48-58 (2011), 査読無

久堀裕朗: "浄瑠璃五段構成の衰微と淡路座" 文学 12 巻 2 号. 112-125 (2011), 査読無

神津武男: "考証・明和三年『武田信玄・長尾謙信/本朝廿四孝』京都興行 浄瑠璃本の包紙、絵尽など人形浄瑠璃関係の資料学の試み" 早稲田大学高等研究所紀要 3 号. 1-13 (2011), 査読無
http://www.waseda.jp/wias/eng/achievement/bulletin/data/t_kozu_2010.pdf

神津武男: "浄瑠璃本(通し本)の配役書入本について(中)-「さ」～「は」-" 演劇映像学 2010 第 4 集. 181-231 (2011), 査読無

井上勝志: "近松の洒落精神-連帯感・親近感の確認と、その向こう-" 上方芸能 182. 49-53 (2011), 査読無

黒石陽子: "古浄瑠璃『ゆいせき争』『かわづまたのすまひろん』の特色-叙事文学の演劇化-" 東京学芸大学紀要人文社会学系 1 63. 137-147 (2012), 査読無

神津武男: "浄瑠璃本(通し本)の配役書入本について(下)-「ひ」～「ら」-" 演劇博物館グローバルCOE 紀要『演劇映像学 2011』 4. 127-158 (2012), 査読無

神津武男: "浄瑠璃本(通し本)の配役書入本の効用 付り・上中編の補遺と年月順総索引" 早稲田大学高等研究所紀要 4. 1-36 (2012), 査読無
http://www.waseda.jp/wias/achievement/bulletin/data/t_kozu_2011.pdf

久堀裕朗: "早稲田大学演劇博物館蔵『浄るり今物語』解題と翻刻" 文学史研究 52. 64-78 (2012), 査読無
http://dliisv03.media.osaka-cu.ac.jp/info/lib/user_contents/kiyo/111E0000001-52-4.pdf

久堀裕朗: "新出資料に見る近世淡路座の芝居興行-『淡島歴覧』の市村六之丞座興行記録-" 公開講演・演奏会「淡路人形浄瑠璃と大阪」実施報告. 9-16 (2012), 査読無

神津武男: "浄瑠璃絵尽作品名別所在目録 浄瑠璃絵尽研究の現在と、二三の補遺" かがみ 42(未定稿). 117-165 (2012), 査読無

井上勝志: "完本『聖徳太子御伝記』の出現"、

「近松研究所紀要」(近松研究所) 第 23 号、pp.1-6、2012 年 12 月、査読無

久堀裕朗: "『淡島歴覧』の淡路座関連記事"、『演劇研究会会報』第 38 号、20-36 頁、2012 年 6 月、査読無

黒石陽子: "古浄瑠璃『石ばし山』の特色 頼朝天下掌握の描き方"、『東京学芸大学紀要 人文社会科学系』第 64 集、79-88 頁、2013 年 1 月、査読無

鈴木博子: "時代浄瑠璃の女性登場人物"、『アメリカに渡った物語絵』、206-216 頁、2013 年 3 月、査読無

〔学会発表〕(計 4 件)

神津武男: "浄瑠璃本のベストセラー-残存点数の比較にみる受容の実態-" 日本近世文学会. (20100516). 実践女子大学

井上勝志: "『今川二度之忠臣』について" 奥浄瑠璃研究会、第 19 回例会. (20110528). 大阪市立大学文化交流センター

神津武男: "『播州皿屋舗』の成立と上演史" 京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター、第 32 回公開講座「義太夫節稀曲の復活」. (20111219). 京都府立文化芸術会館

井上勝志: "「佐藤利作」の住所・印について" 奥浄瑠璃研究会、第 21 回例会. (20111224). 大阪市立大学文化交流センター

〔図書〕(計 2 件)

神津武男: "『近松浄瑠璃善本集成』全 5 巻" クレス出版. 2600 (2011)

井上勝志: 近松浄瑠璃の史的研究 作者近松の軌跡、和泉書院、p.343、2013 年 1 月

〔産業財産権〕

出願状況(計 0 件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:
出願年月日:
国内外の別:

取得状況(計 0 件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:

取得年月日：

国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

神津武男「近松没後義太夫節人形浄瑠璃初演
作品一覧データベース」

<http://enpaku.waseda.ac.jp/db/joururi/index.php>

6．研究組織

(1)研究代表者

神津 武男 (KOZU,Takeo)

早稲田大学・高等研究所・研究員

研究者番号：10424821

(2)研究分担者

黒石 陽子 (KUROISHI,Yoko)

東京学芸大学・教育学部・教授

研究者番号：40247268

井上 勝志 (INOUE,Katsushi)

園田学園女子大学・近松研究所・教授

研究者番号：90309443

久堀 裕朗 (KUBORI,Hiroaki)

大阪市立大学・文学研究科・准教授

研究者番号：50335402

鈴木 博子 (SUZUKI,Hiroko)

帝塚山大学・人文学部・准教授

研究者番号：80610237